

2015

ASSISTIVE TECHNOLOGY

鎌田・小竹・二瓶研究室

質問はこちらへ!
二瓶講師
mnihei@sl.t.u-tokyo.ac.jp
04-7136-4670



人間・乗り物・デザインをキーワードに「安心・安全で快適な生活に役立つ技術」に関して
様々な研究成果を世の中に出力しています



1 地域交通の未来を一緒に考えよう
地方地域の住民の足を確保するため、
多様な交通手段の特性と役割を明確にし、
地域の特性に合わせた組み合わせを
社会実験などを通して検討します。



2 自動運転の時代を切り開く
実用レベルの自動運転技術を用いて、
運転を人と機械がシェアするシステム
の構築に向けて開発を行い、シミュレー
タ模擬市街路などで検証します。

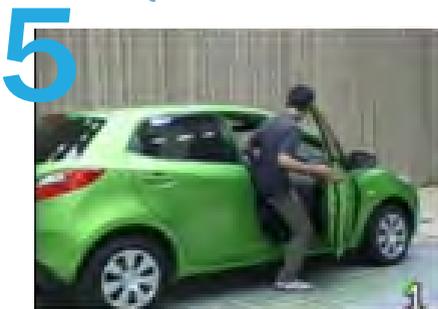


3 自在に操作できる車椅子を目指そう!
DMDを患い、手指の運動が制限される
患者が車椅子を操作するための入力装
置の開発を行います。



4 人の役に立つ機械をつくろう!
バリアが存在する環境で、障がい者が自
律的に快適に移動できるように支援す
る機器の開発、制御を行います。

創造を世の中に！元気のよい学生来たれ！



5 君が車内設計した車が販売されるかも！ 高齢者の生活をサポートしよう！
自動車乗降時に身体的負担の少ないス
ムーズな動作で乗り降りできるようにす
るための車内空間を設計します。



6 ひとり暮らし高齢者の日常生活能力の
低下を改善するために、環境センシ
ングシステムを用いて認知・身体機能を測
定する手法を開発します。



7 福祉機器による転倒を防ごう！
機器を安全に使うために、高齢者の転
倒対策として用いる支援機器の有効性
の検証ツールの開発や人体モデルを用
いたシミュレーションを行います。

- ☆今年のテーマ☆
- 1 新しい手段の活用も考えた地域交通の構成論
 - 2 自動運転技術を用いたシェアードドライブシ
ステムの開発
 - 3 手指の微小変位・力から機能拡張を実現する
モビリティ用インターフェイスの開発
 - 4 快適性を向上させるバリアフリー移動・移乗
自律支援技術に関する研究
 - 5 乗降時の動作を誘導・支援する自動車の空間
設計に関する研究
 - 6 環境センシングによる独居高齢者の日常生活
支援策に関する研究
 - 7 高齢者の転倒と転倒予防に関する研究

説明会

場所

工学部 8 号館 023 号室

日時

4月7日：14:00~/16:00~

4月8日：11:00~/14:00~/16:00~

